

<H23-pm1-A : 問題>

次の文は、測量法（昭和 24 年法律第 188 号）に規定された事項について述べたものである。下線の語句について、正しいものには○を、間違っているものには×及び正しい語句を、それぞれ解答欄に記せ。

1. この法律は、国若しくは公共団体が費用の全部若しくは一部を負担し、若しくは補助して実施する土地の測量又はこれらの測量の結果を利用する土地の測量について、その実施の基準及び実施に必要な権能を定め、測量の障害を除き、並びに測量の正確さを確保するとともに、測量業を営む者の登録の実施、業務の規制等により、測量業の適正な運営とその健全な発達を図り、もって各種測量の調整及び測量制度の改善発達に資することを目的とする。
2. 基本測量の測量成果及び測量記録の謄本又は抄本の交付を受けようとする者は、国土交通省令で定めるところにより、国土交通大臣に申請をしなければならない。
3. 公共測量を実施する者は、当該測量において設置する測量標に、公共測量の測量標であること及び 測量作業機関の名称を表示しなければならない。
4. 公共測量は、基本測量又は公共測量の測量成果に基いて実施しなければならない。
5. 基本測量の測量成果を使用して基本測量以外の測量を実施しようとする者は、国土交通省令で定めるところにより、あらかじめ、市町村長の承認を得なければならない。
6. 測量業者は、その営業所ごとに 測量士と測量士補を一組以上置かなければならない。
7. 測量業者は、その業務の改善又は測量技術の向上のために必要があるときは、国土交通大臣に対して、必要な助言を求めることができる。

<H23-pm1-B : 問題>

公共測量に関する次の各問に答えよ。

問 B-1.

次の文は、各測量計画機関が実施する測量について、その測量の目的及び測量の内容について述べたものである。測量法（昭和 24 年法律第 188 号）第 5 条に規定する「公共測量」に該当するものには○を、該当しないものには×を解答欄に記せ。

ただし、測量に要する費用は、測量計画機関がすべて負担するものとする。

1. A市は、道路管理のため、新設道路の 500m区間について、地図情報レベル 500 の道路台帳の修正を行った。
2. B市にある三等三角点を維持するため、国土地理院が移転した。
3. C町は、庁舎管理のため、地図情報レベル 250 の庁舎平面図を作成した。
4. D県は、河川管理のため、四等三角点及びE町で設置した 2 級基準点を使用して距離標設置測量を行った。

問 B-2.

問 B-1 で「公共測量」に該当するものには、作業を実施する際の最も適当な作業方法を、「公共測量」に該当しないものには、該当しない理由を、それぞれ 70 字以内で解答欄に記せ。

<H23-pm1-C : 問題>

図 1-1 は、測量計画機関が公共測量を行う場合の手続き等の流れを示したものである。次の各問に答えよ。

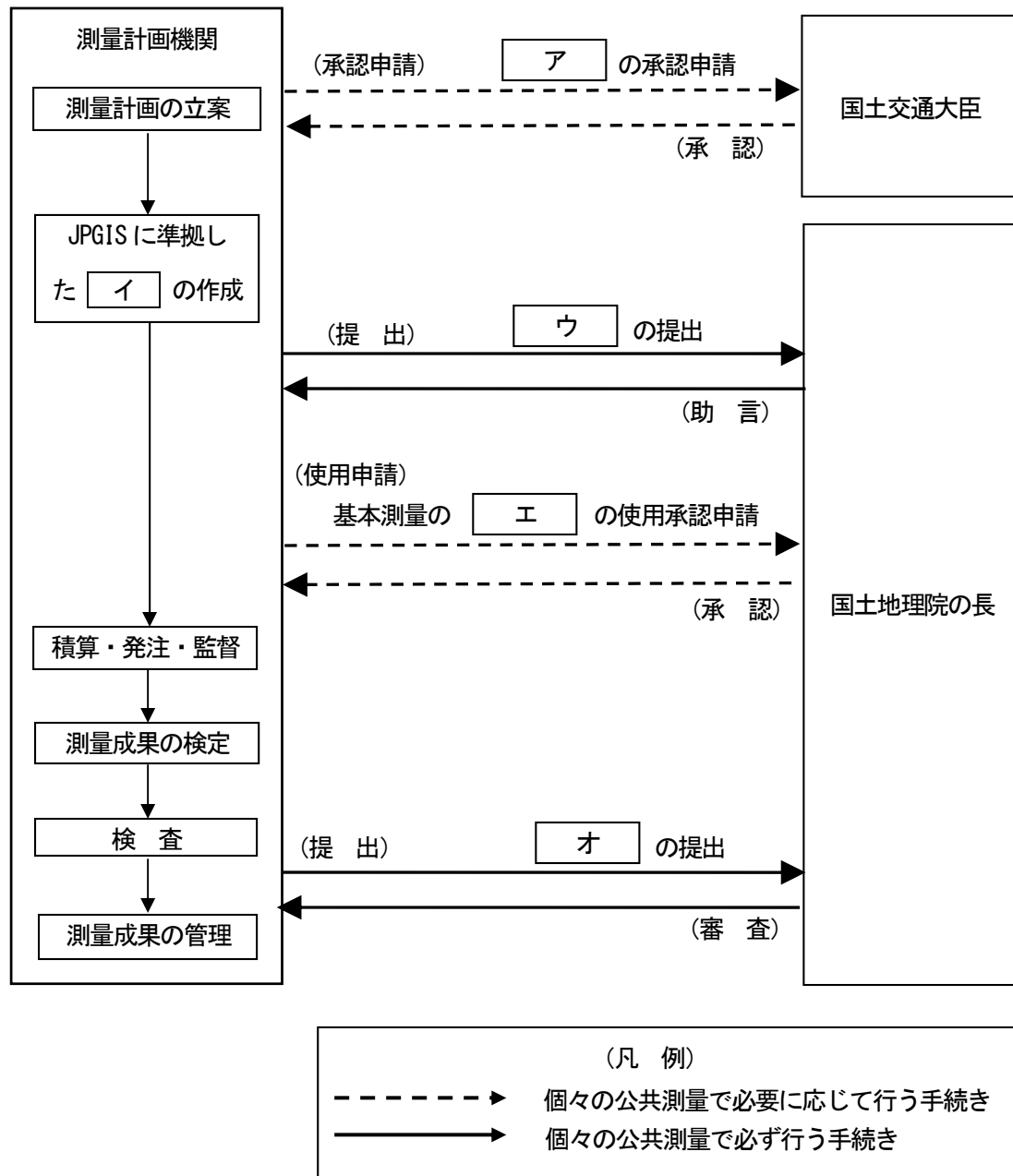


図 1-1

問 C-1.

図 1-1 の [ア] ~ [オ] に入る最も適当な語句を、また、申請、提出等を行う目的について、それぞれ 50 字以内で解答欄に記せ。

~ 3 ~

問 C-2.

図 1-1 において、ア に定めていない新しい測量技術を検討する場合、測量計画機関が確認すべき事項を、語群の語句を全て使用して、80 字以内で解答欄に記せ。

語群

確認 検証結果 国土地理院の長 精度 測量作業機関

問 C-3.

測量作業機関は、測量の正確さを確保するため、適正な精度管理を行い、この結果に基づいて品質評価表及び精度管理表を作成し、測量計画機関に提出しなければならない。表 1-1 は、品質評価表の作成の際、品質の要素を示したものである。

① ～ ⑤ に入る最も適当な語句はどれか。語群から選び、その番号を解答欄に記せ。

表 1-1

①	地物、属性、地物間関係の存否について記述。
②	データ構造、属性及びデータ関係に関する理論的規則への忠実度について記述。
③	地物の位置の正確度について記述。
時間正確度	④ と時間関係の正確度について記述。
主題正確度	主題属性の正確度と、 ⑤ 及び関係の正しさについて記述。

語群

1. 位置正確度 2. 完全性 3. 合理性 4. 作成データ 5. 時間スキーマ
6. 数値属性 7. 存在性 8. 地物の時間属性 9. 地物の分類 10. 符号化
11. 論理一貫性

<H23-pm1-D : 問題>

次の文は、ネットワーク型 RTK 法を用いた公共測量について述べたものである。次の各問に答えよ。

問 D-1.

次の文の ～ に入る最も適当な語句を解答欄に記せ。

ネットワーク型 RTK 法は、配信業者で算出された補正データ又は パラメータを、
 等の通信回線を介して移動局で受信すると同時に、移動局で からの信号を受信し、移動局側において即時に を行って位置を求める方法である。また、この方法は、複数の に次々と移動して移動局の位置を即時に求めることができる。

問 D-2.

ネットワーク型 RTK 法の基線ベクトル及び座標を求める方法には、直接観測法、間接観測法、単点観測法がある。このうち、間接観測法において、1 台の GNSS 測量機を用いて基線ベクトルを求める場合、特に留意すべき事項及び点検方法について、それぞれ 25 字以内で解答欄に記せ。

問 D-3.

単点観測法による観測において、観測地域とその周辺の整合を図る場合、特に留意すべき事項について、例に倣って 40 字以内で解答欄に記せ。

ただし、例として示す内容は除く。

(例) 整合の基礎となる既知点は、作業地域の周辺を囲むように配置する。